

平成25年「岩手県の東日本大震災津波からの復興に関する意識調査」結果(速報)

1 目的

復興計画に基づいて県が行う施策、事業の実施状況や進捗に関し、県民がどの程度重要だと感じ、どの程度復旧・復興を実感しているか等を毎年継続的に把握することにより、計画の実効性を高め、長期にわたる復興に向けた取組の着実な推進を図るもの。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する20歳以上の男女個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 調査票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 平成25年2月～3月
- (6) 調査項目
 - ・生活全般の満足度について
 - ・全般的な復旧・復興の実感などについて
 - ・具体的な（施策別の）復旧・復興の重要度・実感などについて
 - ・復旧・復興に向けた優先施策について
 - ・地域での行動について
 - ・「あなた」や世帯の状況について
 - ・東日本大震災の影響について
- (7) 回収結果

平成25年	有効回収率	68.8%	(3,440人/5,000人)
平成24年	有効回収率	71.8%	(3,590人/5,000人)

(8) 回答者の属性

性別	人数	割合
男性	1,636	47.6%
女性	1,782	51.8%
不明・無回答	22	0.6%

居住地別	人数	割合
沿岸部	1,575	45.8%
・沿岸北部	797	23.2%
・沿岸南部	778	22.6%
内陸部	1,817	52.8%
県外	28	0.8%
不明・無回答	20	0.6%

年齢別	人数	割合
20～29歳	253	7.4%
30～39歳	402	11.7%
40～49歳	541	15.7%
50～59歳	694	20.2%
60～69歳	776	22.6%
70歳以上	759	22.1%
不明・無回答	15	0.4%

職業別	人数	割合
自営業主	355	10.3%
家族従事者	170	4.9%
会社・団体役員	577	16.8%
常用雇用者	568	16.5%
臨時雇用者	370	10.8%
学生	47	1.4%
専業主婦（主夫）	434	12.6%
無職	715	20.8%
その他	146	4.2%
不明・無回答	58	1.7%

住まいへの被害	人数	割合
被害あり	933	27.1%
被害なし	2,409	70.0%
不明・無回答	98	2.8%

家族への被害	人数	割合
被害あり (死亡・行方不明・負傷)	110	3.2%
被害なし	3,079	89.5%
その他	124	3.6%
不明・無回答	137	4.0%

※複数回答

■留意事項■

- 沿岸部とは、下記の沿岸北部及び沿岸南部の12市町村、内陸部とは、県内33市町村から沿岸部を除いた21市町村です。
沿岸北部とは、洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町の6市町村、
沿岸南部とは、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市の6市町です。
- 集計において、実際の回答数に市町村別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計（母集団拡大集計）を行っています。
- 割合は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- 調査項目中「地域での行動について」は、クロス集計等の分析を行った後、「いわて復興レポート」に掲載する予定です。

《調査結果の概要》

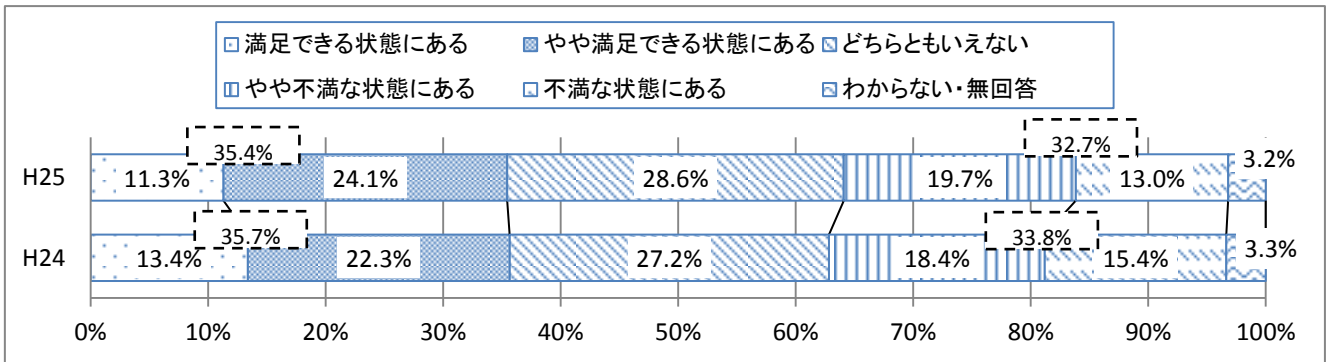
1 生活全般の満足度について

(1) 今の生活全般の満足度

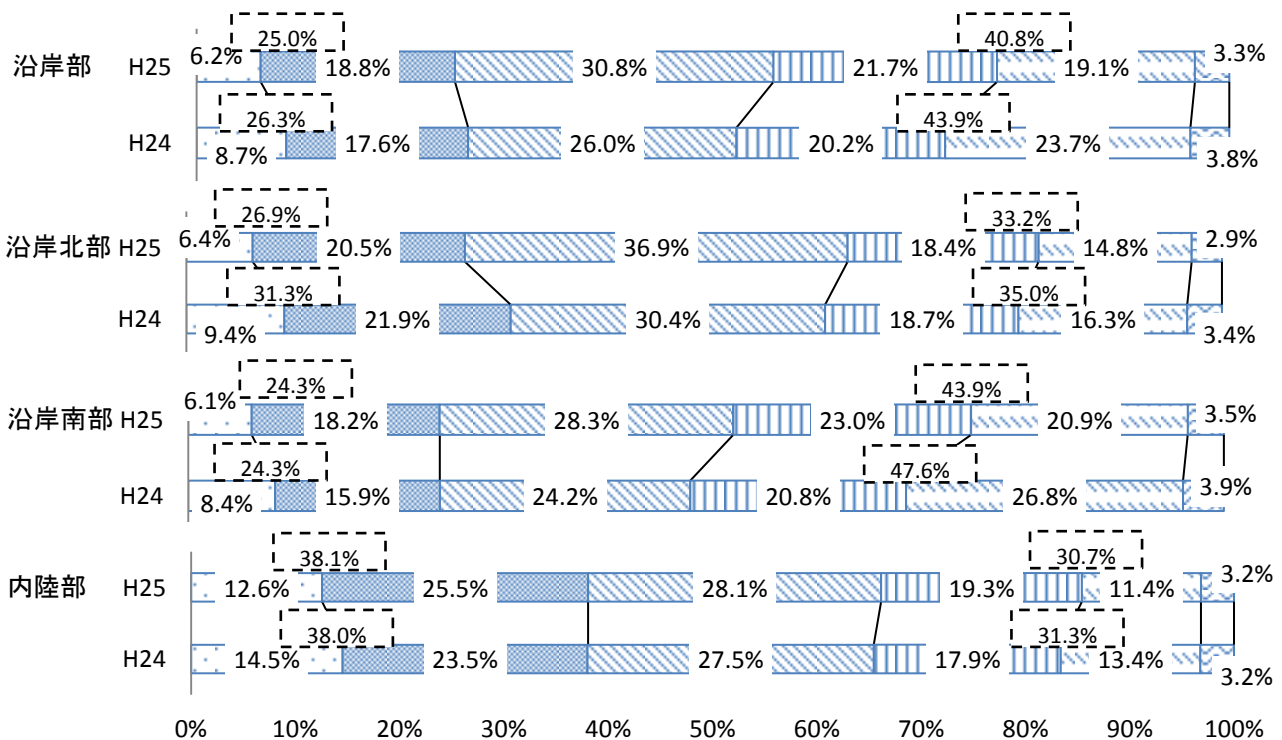
○今の生活全般の満足度について、県全域では、「満足できる状態にある」「やや満足できる状態にある」の割合(35.4%)が、「やや不満な状態にある」「不満な状態にある」の割合(32.7%)に比べ高くなっており、前回(平成24年)調査と比較して横ばいの結果となっている。

○地域別に見ると、沿岸部では、「やや不満な状態にある」「不満な状態にある」の割合(40.8%)が高くなってきているのに対し、内陸部では「満足な状態にある」「やや満足な状態にある」の割合(38.1%)が高くなっており、前回(平成24年)調査と比較すると、沿岸部ではやや減、内陸部では横ばいの結果となっている。

【設問】 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。



<地域別>



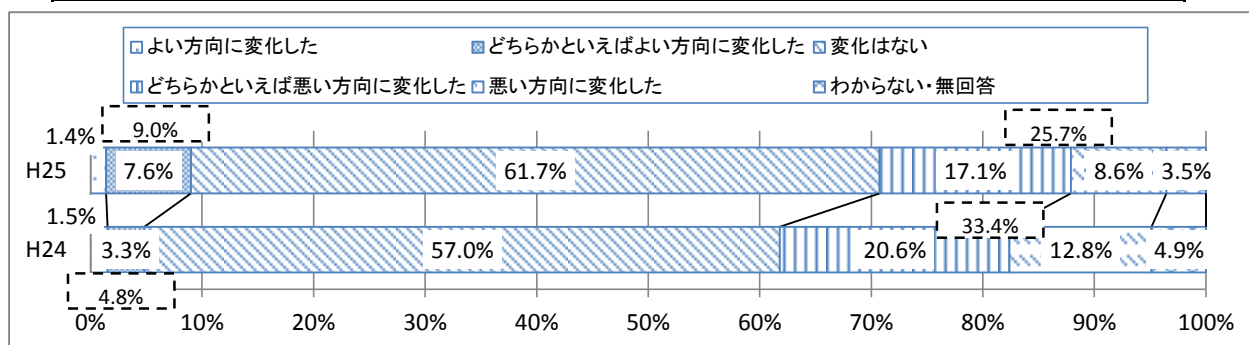
(2) 今の生活の満足度(1年前との比較)

○今の生活の満足度の1年前との比較について、県全域では、「変化はない」の割合(61.7%)が高くなっている。「どちらかといえば悪い方向に変化した」「悪い方向に変化した」の割合は、25.7%であった。

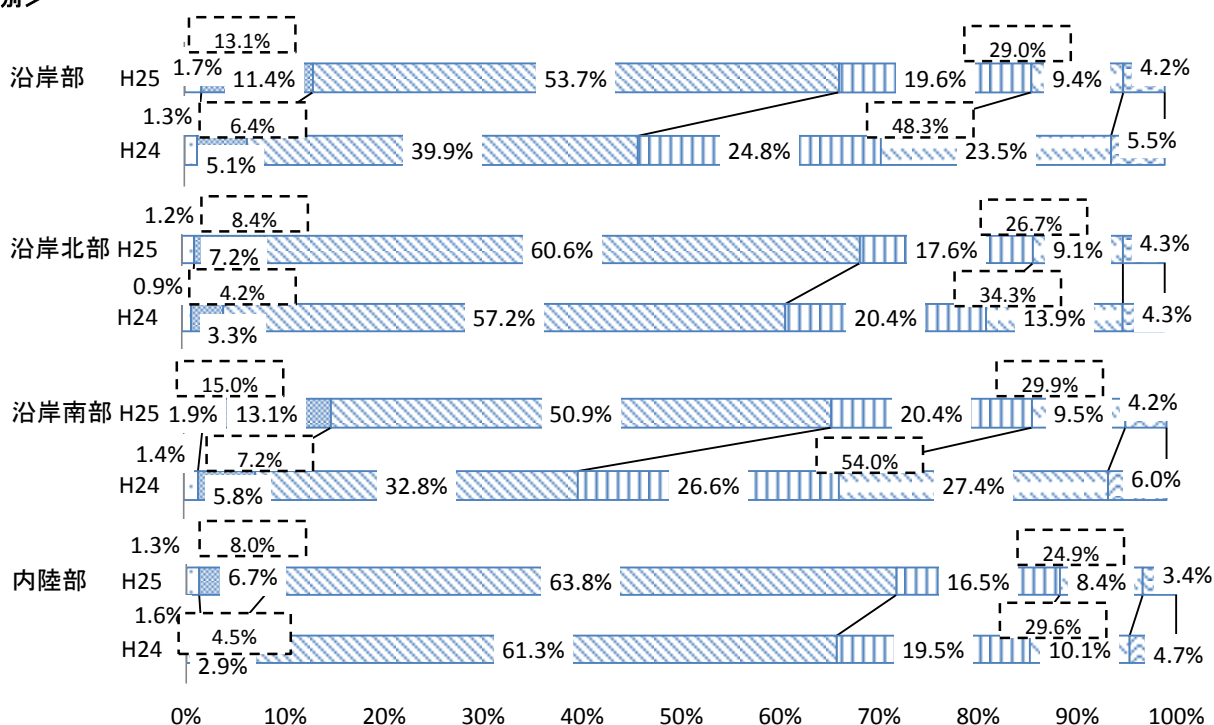
○地域別に見ると、沿岸部、内陸部ともに「変化はない」の割合(沿岸部53.7%、内陸部63.8%)が高くなっている。「どちらかといえば悪い方向に変化した」「悪い方向に変化した」の割合は、沿岸部では前回調査(平成24年)から減少し、(19.3ポイント低下、48.3%→29.0%)、内陸部では微減となった(4.7ポイント低下、29.6%→24.9%)。

※本質問では、調査時点とその1年前時点の満足度を比較しており、前回(平成24年)調査時には「今の生活は1年前(震災前)と比較して、どのように変化しましたか。」との質問を設定している。

【設問】 今の生活全般の満足度は1年前と比較して、どのように変化しましたか。



<地域別>



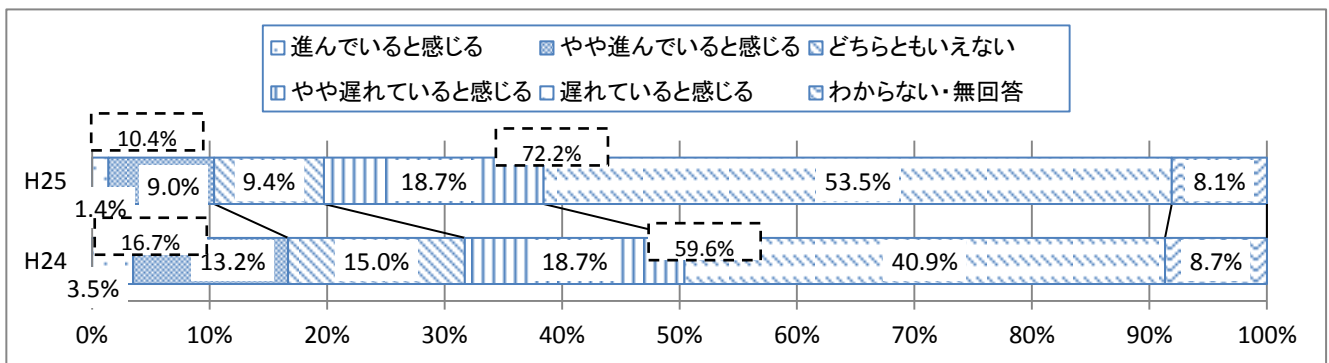
2 全般的な復旧・復興の実感などについて

(1) 岩手県全体の復旧・復興の実感

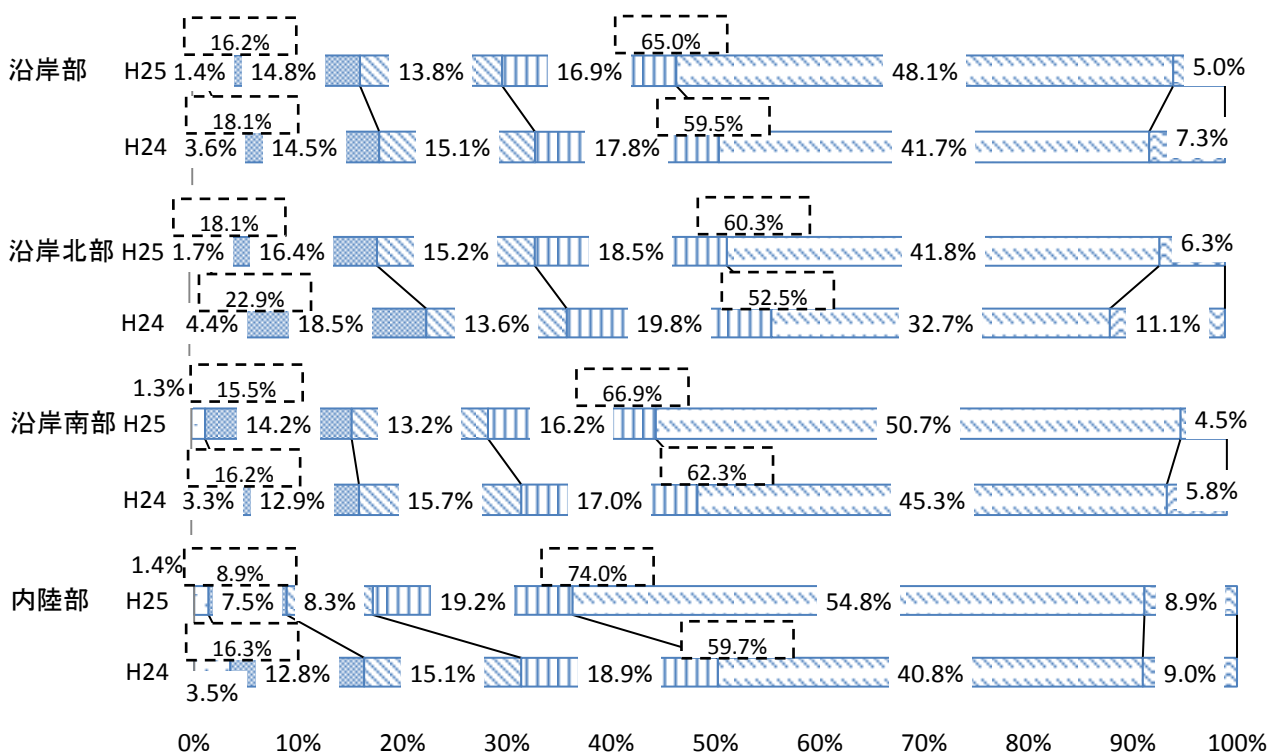
○岩手県全体の復旧・復興の実感について、県全域では、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の割合(72.2%)が高くなっており、前回(平成24年)調査と比較すると12.6ポイント上昇(59.6%→72.2%)している。

○地域別に見ると、沿岸部、内陸部共に、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の割合(沿岸部65.0%、内陸部74.0%)が高くなっている。前回(平成24年)調査と比較すると、沿岸部が5.5ポイントの上昇(59.5%→65.0%)、内陸部は14.3ポイントの上昇(59.7%→74.0%)となっている。

【設問】 岩手県全体をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。



<地域別>



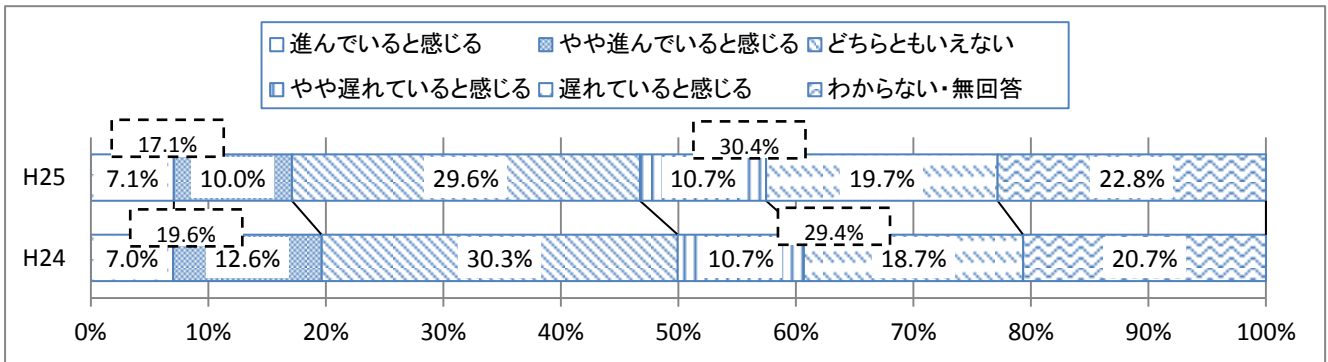
(2) お住まいの市町村の復旧・復興の実感

○お住まいの市町村の復旧・復興の実感について、県全域では「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の割合(30.4%)が高く、また「どちらともいえない」の割合は29.6%となっており、これは前回(平成24年)調査とほぼ同様の結果となっている。

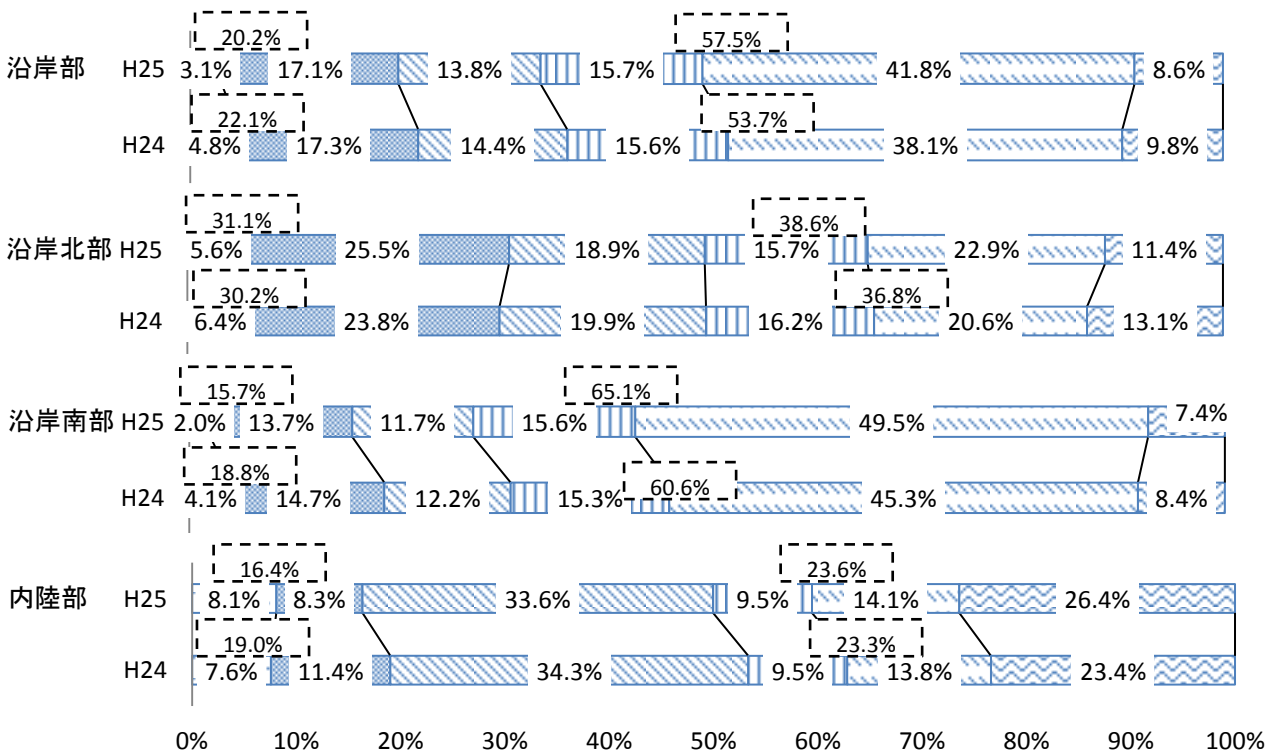
○地域別に見ると、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」の割合は沿岸部では57.5%と、前回(平成24年)調査と比較して微増となっている。また、内陸部では23.6%と、前回(平成24年)調査と比較してほぼ横ばいの結果となっている。

【設問】

あなたがお住まいの市町村をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。なお、震災時にお住まいだった市町村から転居されている方は、震災時にお住まいだった市町村の状況について、お答えください。



<地域別>



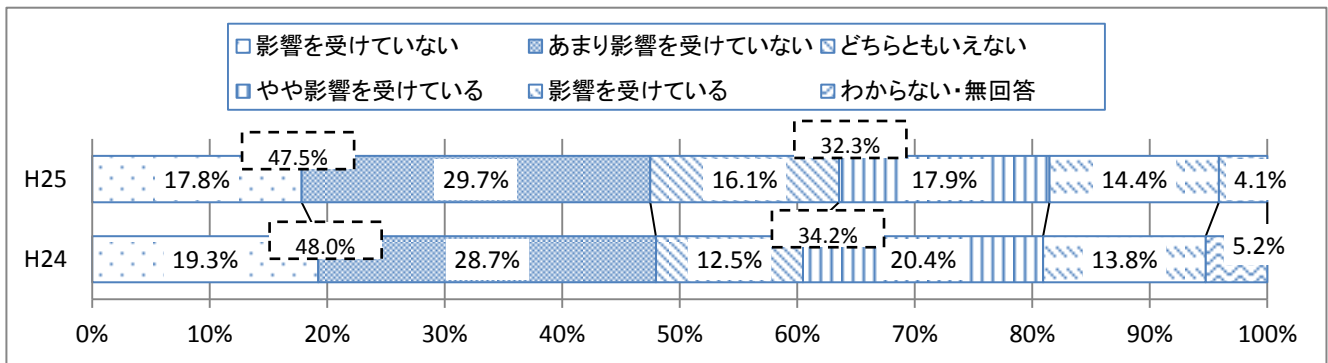
(3) 現在の生活への震災の影響

○現在の生活への震災の影響について、県全域では「影響を受けていない」「あまり影響を受けていない」の割合は47.5%となっている。また「やや影響を受けている」「影響を受けている」の割合は32.3%となっている。

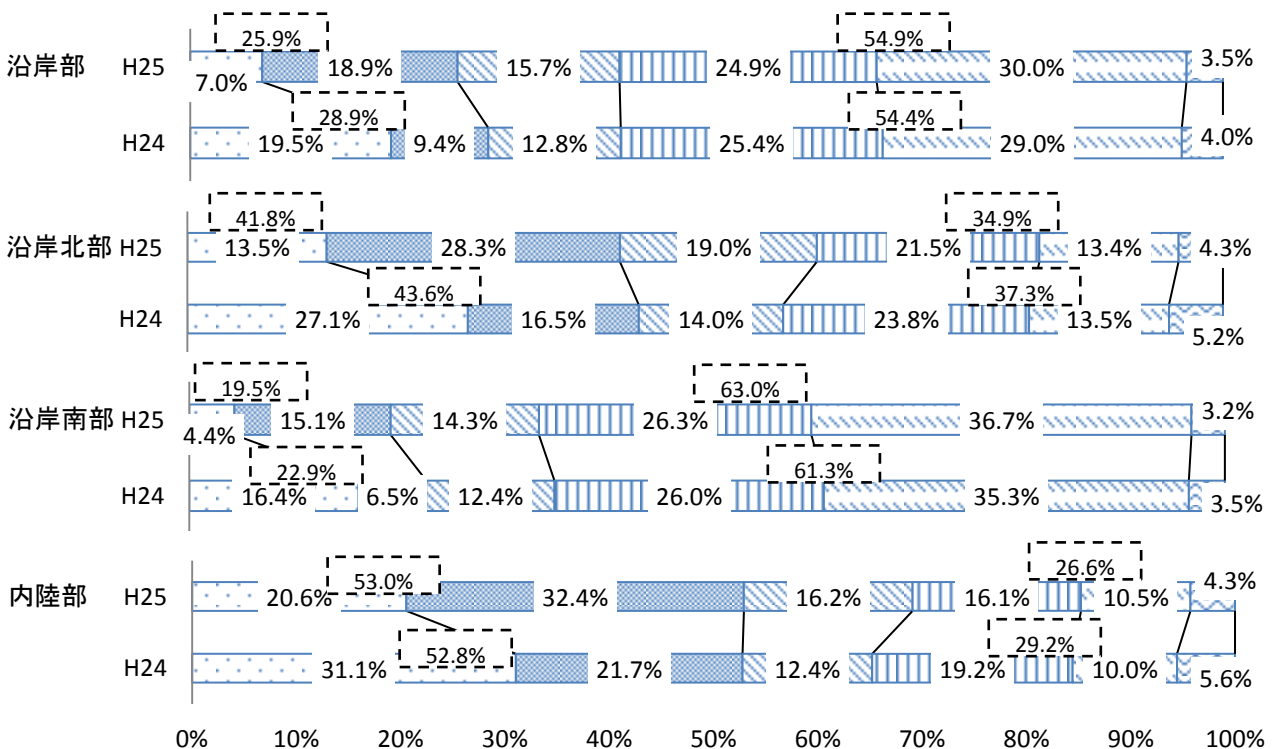
○地域別に見ると、沿岸部では「やや影響を受けている」「影響を受けている」の割合(54.9%)が高く、内陸部では「影響を受けていない」「あまり影響を受けていない」の割合(53.0%)が高くなっている。

○前回(平成24年)調査と比較すると、沿岸部では「影響を受けていない」「あまり影響を受けていない」の割合がやや減少し、「やや影響を受けている」「影響を受けている」の割合は横ばいとなっている。

【設問】 あなた自身の現在の生活は、震災の影響をどの程度受けていますか。



<地域別>



3 施策別の復旧・復興の重要度・実感などについて

○施策別の復旧・復興の重要度・実感などについては、進捗への実感に比べて重要度は全般的に高い水準にあり、復興促進ニーズ度(「重要度」-「進捗への実感」)も一定の高い水準となっており、前回(平成24年)調査とほぼ同様の結果となっている。

【設問】 復興計画の3つの原則に基づいた復興を実現するための具体的な取組について、「あなたから見た重要度」と「あなたの復旧・復興の実感」についてお伺いします。

項目別の重要度、進捗への実感、復興促進ニーズ度(県全域)

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への実感	復興促進ニーズ度	
						(H24)
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.68	2.11	2.57	2.54
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.62	1.79	2.82	2.86
	1-3	放射能への安全対策	4.63	1.94	2.70	2.79
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.58	2.80	1.78	1.88
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.67	2.24	2.43	2.54
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.50	2.02	2.48	2.73
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.64	2.17	2.47	2.51
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.79	1.73	3.06	2.97
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.78	1.96	2.82	2.96
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.77	1.96	2.81	2.99
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.81	2.23	2.58	2.56
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.58	2.47	2.11	2.08
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.77	2.20	2.58	2.57
	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	3.95	2.60	1.35	1.45
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.17	2.33	1.84	1.84
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.90	2.23	1.67	1.62
	2-11	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	4.31	2.64	1.67	1.76
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.68	2.57	2.12	2.17
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	4.48	2.38	2.10	2.33
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.71	2.39	2.32	2.66
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.74	2.19	2.55	2.80
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.64	2.42	2.22	2.54
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.60	2.03	2.57	2.77
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.38	2.21	2.17	2.46
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.55	2.21	2.34	2.53
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.56	2.11	2.45	2.49
	3-9	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	4.46	2.25	2.22	2.36
	3-10	観光客の回復・増加	4.33	2.36	1.97	2.01
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.42	2.14	2.27	2.38
平均			4.54	2.23	2.31	2.42

〔用語の説明〕

重要度： 「重要である」を5点、「やや重要である」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

進捗への実感： 「進んでいると感じる」を5点、「やや進んでいると感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや遅れていると感じる」を2点、「遅れていると感じる」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

復興促進ニーズ度： 「重要度」-「進捗への実感」
(重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。)

※ 項目別の重要度、進捗への実感、復興促進ニーズ度(地域別)は、参考②に掲載しています。

(1) 重要度

○重要度が最も高い項目は、県全域では「被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復」であり、次いで「被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給」「震災による離職者の再就職に向けた取組み」などとなっている。

○地域別に見ると、重要度が最も高い項目は沿岸部では「災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備」、内陸部では「被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復」となっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(1)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
2	(5)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
3	(3)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組み
4	(2)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
5	(4)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
6	(6)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
7	(7)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備
8	(8)	暮らし	2-12	被災した市町村の行政機能の回復
9	(10)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
10	(9)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備

<地域別>

1 沿岸部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(4)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
2	(1)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
3	(6)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
4	(2)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
5	(3)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
6	(7)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
7	(5)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組み
8	(13)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
9	(8)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備
10	(10)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり

1-① 沿岸北部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(3)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
2	(1)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
3	(2)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
4	(5)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
5	(4)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組み
6	(13)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
7	(7)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備
8	(6)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
9	(12)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
10	(8)	暮らし	2-12	被災した市町村の行政機能の回復

2 内陸部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(1)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
2	(3)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組み
3	(4)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
4	(2)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
5	(5)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
6	(6)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
7	(7)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備
8	(8)	暮らし	2-12	被災した市町村の行政機能の回復
9	(11)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
10	(9)	なりわい	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復

1-② 沿岸南部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(1)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
2	(4)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
3	(2)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
4	(3)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
5	(10)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
6	(5)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
7	(7)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
8	(6)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組み
9	(8)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備
10	(13)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備

(2) 進捗への実感

○進捗への実感が最も低い項目は、県全域では「被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給」であり、次いで「防潮堤や防波堤などの整備」「放射能への安全対策」となっている。

○地域別に見てもほぼ同様の傾向であるが、沿岸部では「災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり」「JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧」が、内陸部では「震災による離職者の再就職に向けた取組」「被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保」の実感が低くなっている。

進捗への実感が低い項目

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
29	(26)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
28	(29)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
27	(24)	安全	1-3	放射能への安全対策
26	(25)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
25	(28)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
24	(27)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧
23	(23)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備
22	(14)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
21	(17)	なりわい	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備
20	(20)	なりわい	3-11	被災した観光施設の復旧

<地域別>

1 沿岸部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
29	(28)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
28	(29)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
27	(22)	安全	1-3	放射能への安全対策
26	(17)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
25	(27)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧
24	(26)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
23	(13)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
22	(21)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
21	(18)	なりわい	3-11	被災した観光施設の復旧
20	(19)	なりわい	3-9	ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出

2 内陸部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
29	(25)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
28	(29)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
27	(27)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
26	(28)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
25	(23)	安全	1-3	放射能への安全対策
24	(24)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備
23	(26)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧
22	(18)	なりわい	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備
21	(13)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
20	(12)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり

1-① 沿岸北部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
29	(29)	安全	1-3	放射能への安全対策
28	(23)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
27	(28)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
26	(26)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
25	(25)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
24	(18)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
23	(22)	なりわい	3-9	ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出
22	(13)	なりわい	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備
21	(24)	なりわい	3-11	被災した観光施設の復旧
20	(15)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり

1-② 沿岸南部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
29	(28)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
28	(27)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
27	(29)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧
26	(20)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
25	(19)	安全	1-3	放射能への安全対策
24	(22)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
23	(11)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
22	(17)	なりわい	3-11	被災した観光施設の復旧
21	(13)	暮らし	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備
20	(21)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備

(3) 復興促進二一ズ度

○復興促進二一ズ度が最も高い項目は、県全域では「被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給」であり、次いで「震災による離職者の再就職に向けた取組」「防潮堤や防波堤などの整備」などとなっている。

○地域別に見ると、復興促進二一ズ度が最も高い項目は共通して「被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給」であり、次いで沿岸部では「防潮堤や防波堤などの整備」、内陸部では「震災による離職者の再就職に向けた取組」などとなっている。

復興促進二一ズ度が高い項目

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(2)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
2	(3)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
3	(4)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
4	(1)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
5	(6)	安全	1-3	放射能への安全対策
6	(11)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
7	(10)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
8	(13)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
9	(7)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備
10	(5)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備

<地域別>

1 沿岸部

順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(1)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
2	(2)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
3	(8)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
4	(9)	安全	1-3	放射能への安全対策
5	(6)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
6	(3)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
7	(4)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
8	(12)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
9	(5)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
10	(14)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備

1-① 沿岸北部

順位				
1	(2)	安全	1-3	放射能への安全対策
2	(5)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
3	(1)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
4	(3)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
5	(4)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
6	(8)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
7	(10)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
8	(6)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
9	(9)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備
10	(17)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備

2 内陸部

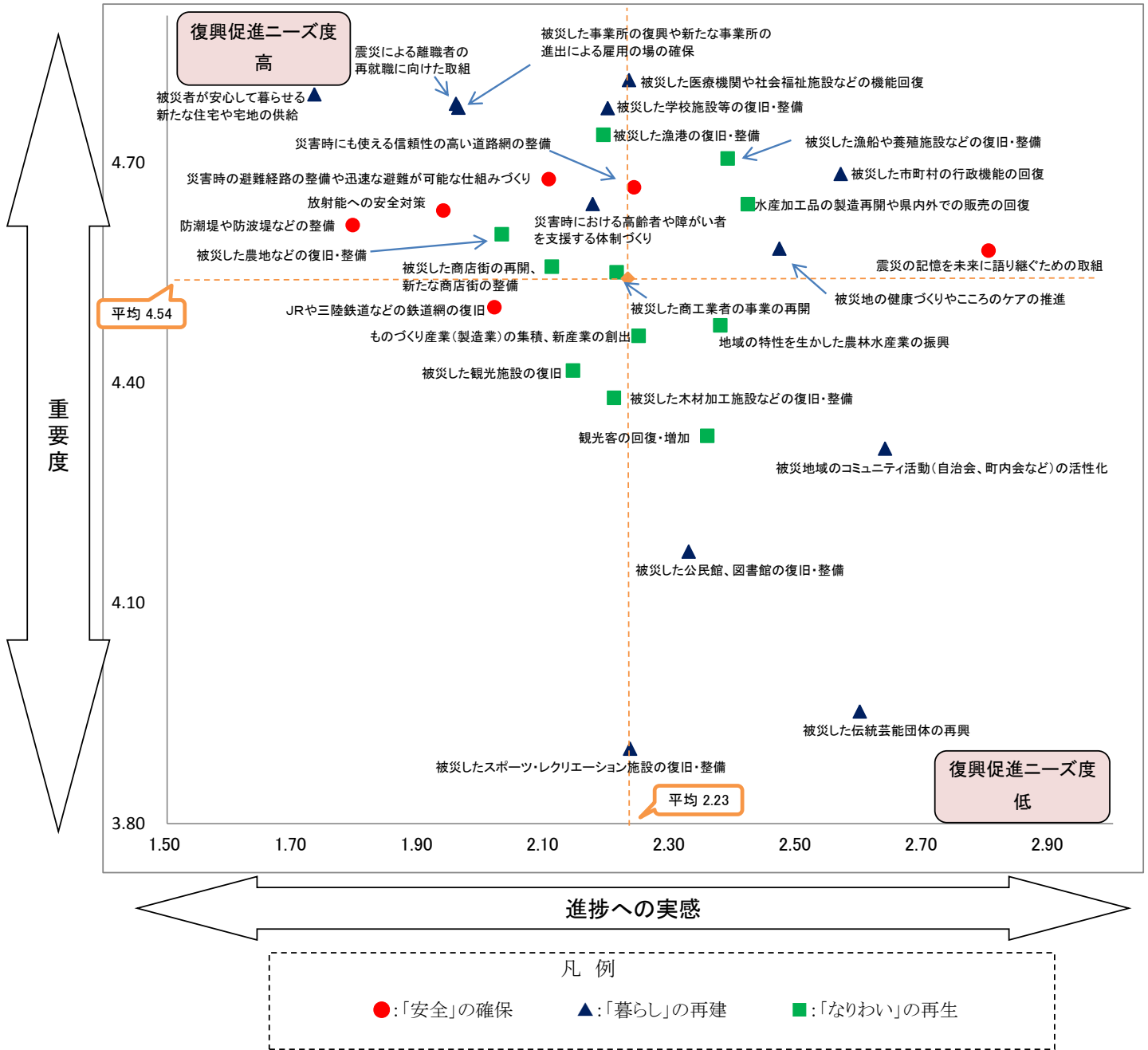
順位	(参考) H24順位	区分	番号	項目
1	(3)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
2	(2)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組
3	(1)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
4	(4)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
5	(5)	安全	1-3	放射能への安全対策
6	(10)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
7	(12)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備
8	(6)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備
9	(7)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
10	(16)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり

1-② 沿岸南部

順位				
1	(1)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
2	(3)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備
3	(8)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
4	(6)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備
5	(13)	安全	1-3	放射能への安全対策
6	(2)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧
7	(5)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
8	(15)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり
9	(4)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備
10	(7)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組

(参考①)項目別の重要度と進捗への実感の関係

【県全域】



【復興促進二�ズ度の高い順】（復興促進二�ズ度＝「重要度」－「進捗への実感」）

順位	(H24) 順位	区分	番号	項目	二�ズ度	順位	(H24) 順位	区分	番号	項目	二�ズ度	順位	(H24) 順位	区分	番号	項目	二�ズ度
1	(2)	暮らし	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	3.06	11	(8)	安全	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	2.48	21	(22)	暮らし	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	2.12
2	(3)	暮らし	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	2.82	12	(16)	暮らし	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	2.47	22	(23)	暮らし	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	2.11
3	(4)	安全	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	2.82	13	(17)	なりわい	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	2.45	23	(21)	なりわい	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	2.10
4	(1)	暮らし	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	2.81	14	(12)	安全	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	2.43	24	(24)	なりわい	3-10	観光客の回復・増加	1.97
5	(6)	安全	1-3	放射能への安全対策	2.70	15	(15)	なりわい	3-7	被災した商工業者の事業の再開	2.34	25	(26)	暮らし	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	1.84
6	(11)	暮らし	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	2.58	16	(9)	なりわい	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	2.32	26	(25)	安全	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	1.78
7	(10)	暮らし	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	2.58	17	(19)	なりわい	3-11	被災した観光施設の復旧	2.27	27	(27)	暮らし	2-11	被災地域のコミュニティ活動（自治会、町内会など）の活性化	1.67
8	(13)	安全	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	2.57	18	(14)	なりわい	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売回復	2.22	28	(28)	暮らし	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	1.67
9	(7)	なりわい	3-5	被災した農地などの復旧・整備	2.57	19	(20)	なりわい	3-9	ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出	2.22	29	(29)	暮らし	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	1.35
10	(5)	なりわい	3-3	被災した漁港の復旧・整備	2.55	20	(18)	なりわい	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	2.17						

(参考②)項目別の重要度、進捗への実感、復興促進ニーズ度(地域別)

1 沿岸部

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への実感	復興促進ニーズ度	
						(H24)
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.67	2.09	2.58	2.65
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.68	1.99	2.69	2.91
	1-3	放射能への安全対策	4.56	2.00	2.56	2.61
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.57	2.71	1.86	2.05
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.78	2.22	2.55	2.80
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.44	2.20	2.24	2.71
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.61	2.21	2.40	2.50
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.76	1.77	3.00	2.99
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.69	2.26	2.43	2.82
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.72	2.21	2.51	2.89
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.76	2.69	2.08	2.16
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.45	2.84	1.61	1.68
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.74	2.48	2.26	2.48
	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	3.88	2.76	1.12	1.31
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.15	2.50	1.65	1.78
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.91	2.30	1.61	1.68
	2-11	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	4.17	2.81	1.36	1.58
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.62	2.91	1.71	1.93
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	4.50	2.42	2.08	2.44
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.67	2.76	1.92	2.55
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.69	2.40	2.30	2.81
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.60	2.64	1.96	2.47
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.52	2.28	2.24	2.56
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.31	2.47	1.84	2.30
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.51	2.42	2.09	2.33
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.51	2.30	2.21	2.25
	3-9	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	4.45	2.25	2.20	2.48
	3-10	観光客の回復・増加	4.22	2.26	1.96	2.29
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.32	2.24	2.08	2.26
平均			4.50	2.39	2.11	2.35

1-① 沿岸北部

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への実感	復興促進ニーズ度	
						(H24)
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.57	2.43	2.14	2.29
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.75	2.34	2.41	2.60
	1-3	放射能への安全対策	4.60	2.01	2.59	2.68
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.53	2.79	1.74	1.89
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.69	2.56	2.14	2.42
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.61	2.98	1.63	1.91
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.59	2.34	2.25	2.36
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.73	2.14	2.59	2.50
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.74	2.22	2.52	2.68
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.76	2.20	2.56	2.72
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.77	2.77	2.00	2.12
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.56	2.86	1.70	1.77
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.77	2.69	2.08	2.14
	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	3.94	2.84	1.10	1.22
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.28	2.76	1.52	1.53
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.94	2.66	1.28	1.32
	2-11	被災地域のコミュニティ活動(自治会、町内会など)の活性化	4.25	2.96	1.29	1.41
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.68	3.10	1.57	1.71
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	4.51	2.46	2.05	2.23
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.72	2.85	1.87	2.21
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.71	2.72	1.99	2.37
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.65	2.74	1.92	2.20
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.61	2.52	2.09	2.35
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.39	2.66	1.73	2.09
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.55	2.49	2.06	2.07
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.49	2.42	2.08	2.11
	3-9	ものづくり産業(製造業)の集積、新産業の創出	4.42	2.38	2.04	2.20
	3-10	観光客の回復・増加	4.30	2.43	1.87	2.17
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.46	2.42	2.04	2.24
平均			4.54	2.58	1.96	2.12

2 内陸部

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への実感	復興促進二重度	
						(H24)
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.68	2.11	2.57	2.51
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.60	1.74	2.86	2.85
	1-3	放射能への安全対策	4.65	1.92	2.73	2.83
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.58	2.83	1.76	1.84
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.64	2.24	2.39	2.47
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.52	1.97	2.55	2.73
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.65	2.17	2.49	2.52
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.80	1.73	3.08	2.97
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.80	1.88	2.92	3.00
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.79	1.90	2.89	3.02
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.82	2.11	2.72	2.67
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.62	2.38	2.24	2.18
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.78	2.12	2.66	2.59
	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	3.97	2.56	1.41	1.49
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.18	2.28	1.90	1.86
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.90	2.22	1.68	1.61
	2-11	被災地域のコミュニティ活動（自治会、町内会など）の活性化	4.35	2.59	1.75	1.81
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.70	2.47	2.23	2.24
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	4.47	2.37	2.11	2.30
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.71	2.29	2.42	2.69
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.75	2.14	2.61	2.79
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.65	2.37	2.29	2.55
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.62	1.97	2.65	2.82
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.40	2.14	2.25	2.50
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.56	2.16	2.40	2.59
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.57	2.06	2.51	2.56
	3-9	ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出	4.47	2.25	2.22	2.33
	3-10	観光客の回復・増加	4.35	2.38	1.97	1.95
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.44	2.12	2.32	2.42
平均			4.55	2.19	2.37	2.44

1-② 沿岸南部

3つの原則	番号	項目	重要度	進捗への実感	復興促進二重度	
						(H24)
「安全」の確保	1-1	災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり	4.70	1.96	2.75	2.78
	1-2	防潮堤や防波堤などの整備	4.65	1.84	2.81	3.03
	1-3	放射能への安全対策	4.54	2.00	2.54	2.58
	1-4	震災の記憶を未来に語り継ぐための取組	4.59	2.68	1.91	2.11
	1-5	災害時にも使える信頼性の高い道路網の整備	4.81	2.09	2.72	2.94
	1-6	JRや三陸鉄道などの鉄道網の復旧	4.37	1.86	2.51	3.05
「暮らし」の再建	2-1	災害時における高齢者や障がい者を支援する体制づくり	4.62	2.16	2.46	2.56
	2-2	被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給	4.77	1.61	3.16	3.17
	2-3	震災による離職者の再就職に向けた取組	4.67	2.28	2.39	2.88
	2-4	被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保	4.70	2.21	2.49	2.96
	2-5	被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復	4.76	2.66	2.11	2.18
	2-6	被災地の健康づくりやこころのケアの推進	4.40	2.83	1.57	1.65
	2-7	被災した学校施設等の復旧・整備	4.72	2.40	2.32	2.60
	2-8	被災した伝統芸能団体の再興	3.86	2.73	1.13	1.33
	2-9	被災した公民館、図書館の復旧・整備	4.09	2.40	1.69	1.86
	2-10	被災したスポーツ・レクリエーション施設の復旧・整備	3.89	2.16	1.73	1.80
	2-11	被災地域のコミュニティ活動（自治会、町内会など）の活性化	4.14	2.75	1.39	1.65
	2-12	被災した市町村の行政機能の回復	4.60	2.84	1.76	2.01
「なりわい」の再生	3-1	地域の特性を生かした農林水産業の振興	4.50	2.41	2.09	2.51
	3-2	被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備	4.66	2.71	1.94	2.68
	3-3	被災した漁港の復旧・整備	4.68	2.26	2.42	2.98
	3-4	水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復	4.58	2.59	1.98	2.58
	3-5	被災した農地などの復旧・整備	4.48	2.17	2.30	2.64
	3-6	被災した木材加工施設などの復旧・整備	4.28	2.40	1.88	2.38
	3-7	被災した商工業者の事業の再開	4.49	2.39	2.10	2.42
	3-8	被災した商店街の再開、新たな商店街の整備	4.52	2.26	2.26	2.30
	3-9	ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出	4.46	2.19	2.27	2.59
	3-10	観光客の回復・増加	4.19	2.19	2.00	2.34
	3-11	被災した観光施設の復旧	4.26	2.16	2.10	2.28
平均			4.48	2.32	2.17	2.44

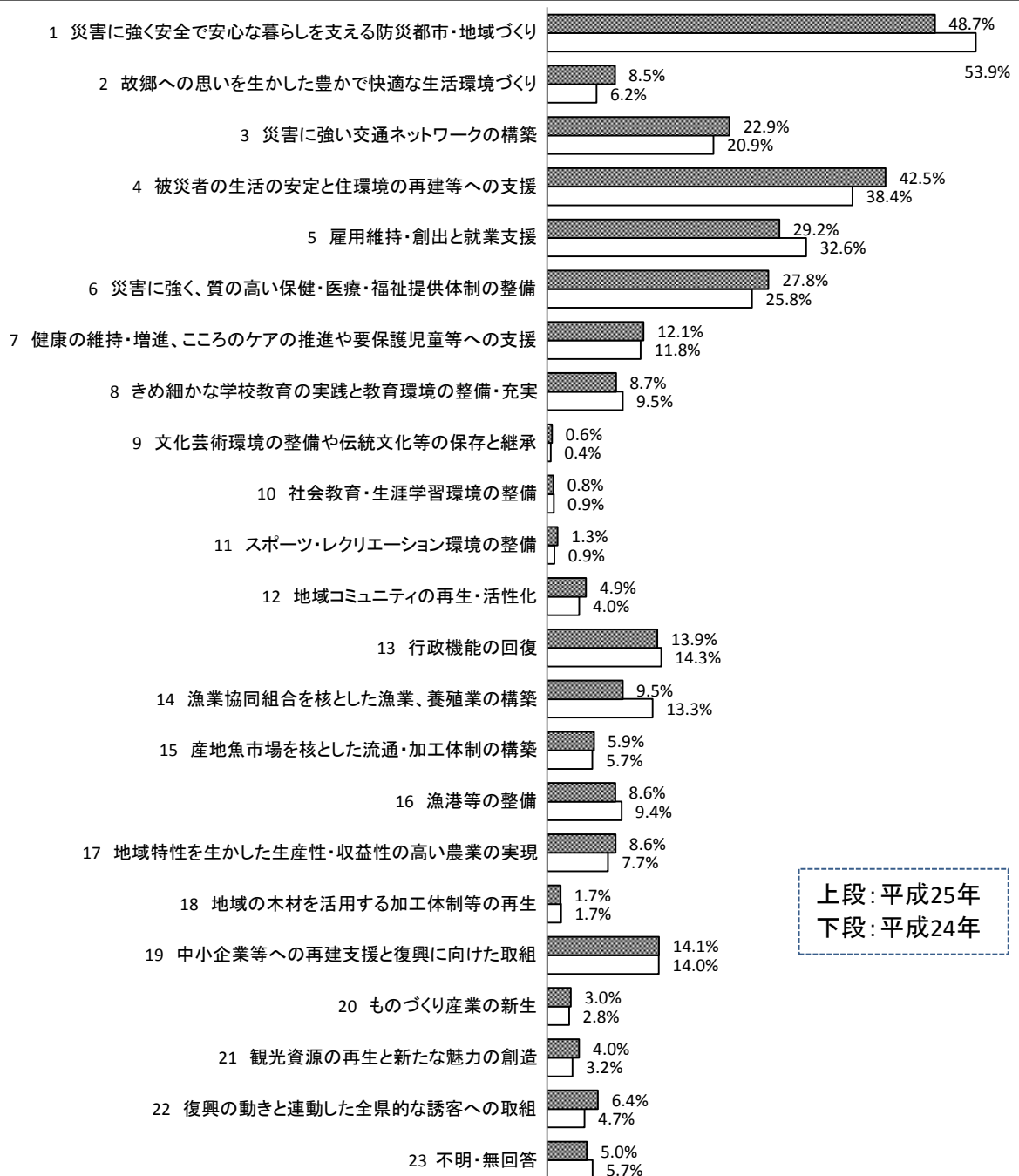
4 復旧・復興に向けた優先施策について

○復旧・復興に向けた優先施策について、県全域では、「災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくり」の割合(48.7%)が最も高く、次いで「被災者の生活の安定と住環境の再検討への支援」(42.5%)、「雇用維持・創出と就業支援」(29.2%)などが高くなっている。

○地域別に見ても、上記とほぼ同様の傾向であるが、それに加えて沿岸部では「災害に強い交通ネットワークの構築」や「災害に強く、質の高い保健・医療・福祉提供体制の整備」などが高くなっている。

○前回(平成24年)調査と比較しても傾向はほぼ変わらず、上位5施策の順位は同じとなった。

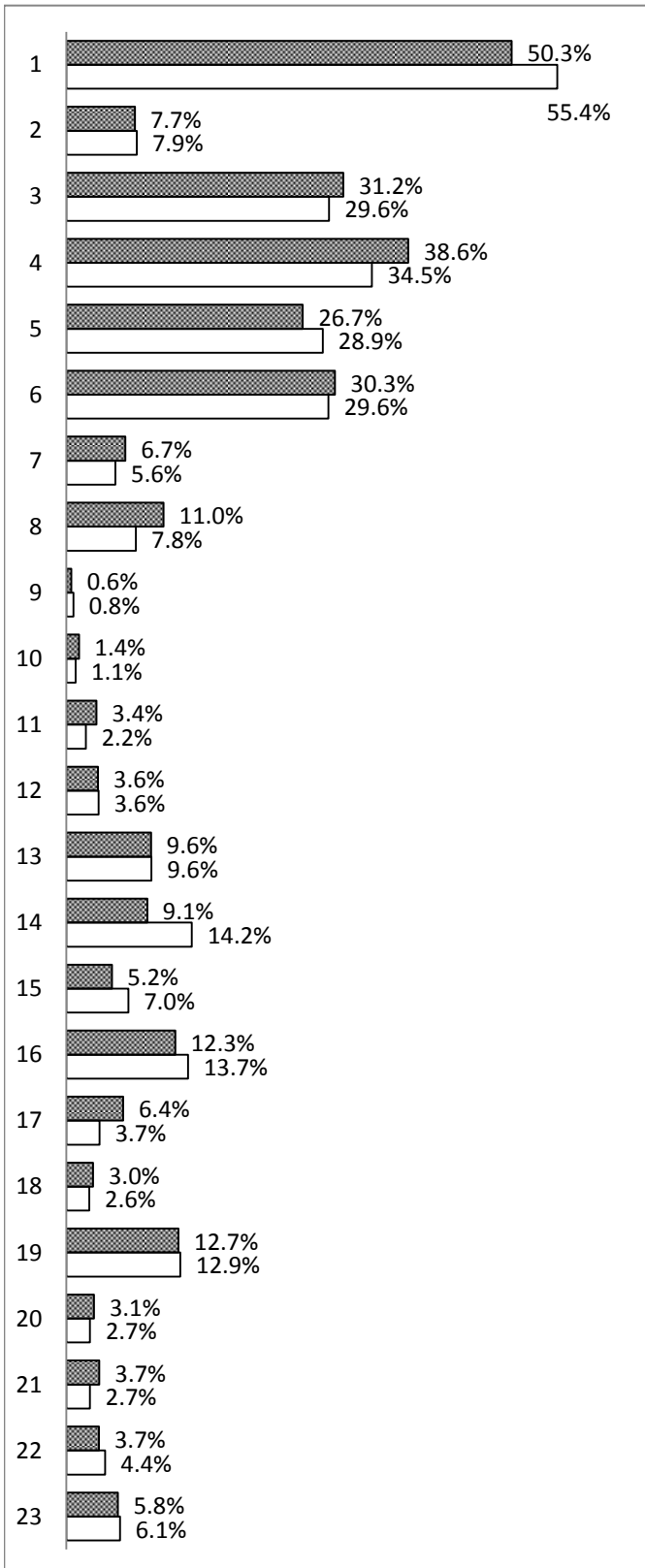
【設問】 あなたは復旧・復興を進めるために優先的に進めて欲しい施策について、次の項目(22の取組項目)の1から22のなかから3つ選び、番号に○をつけてください。



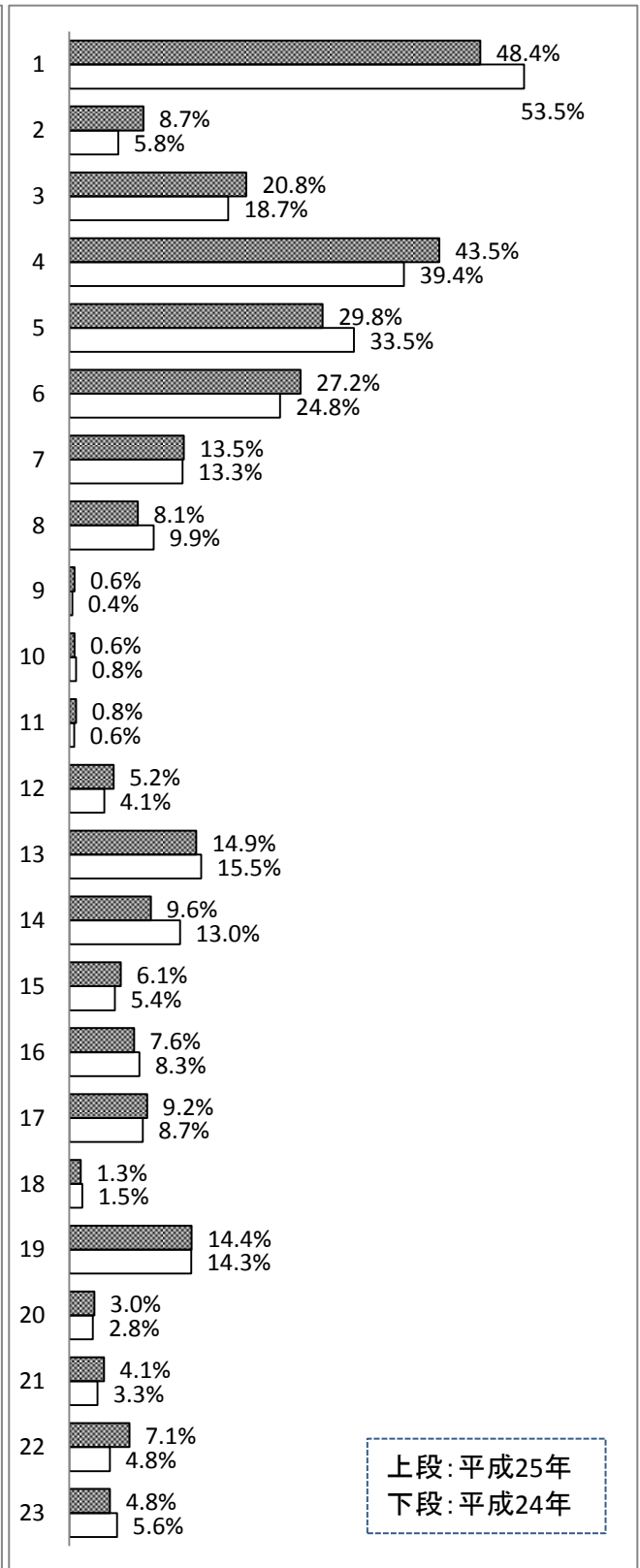
上段：平成25年
下段：平成24年

<地域別>

1 沿岸部

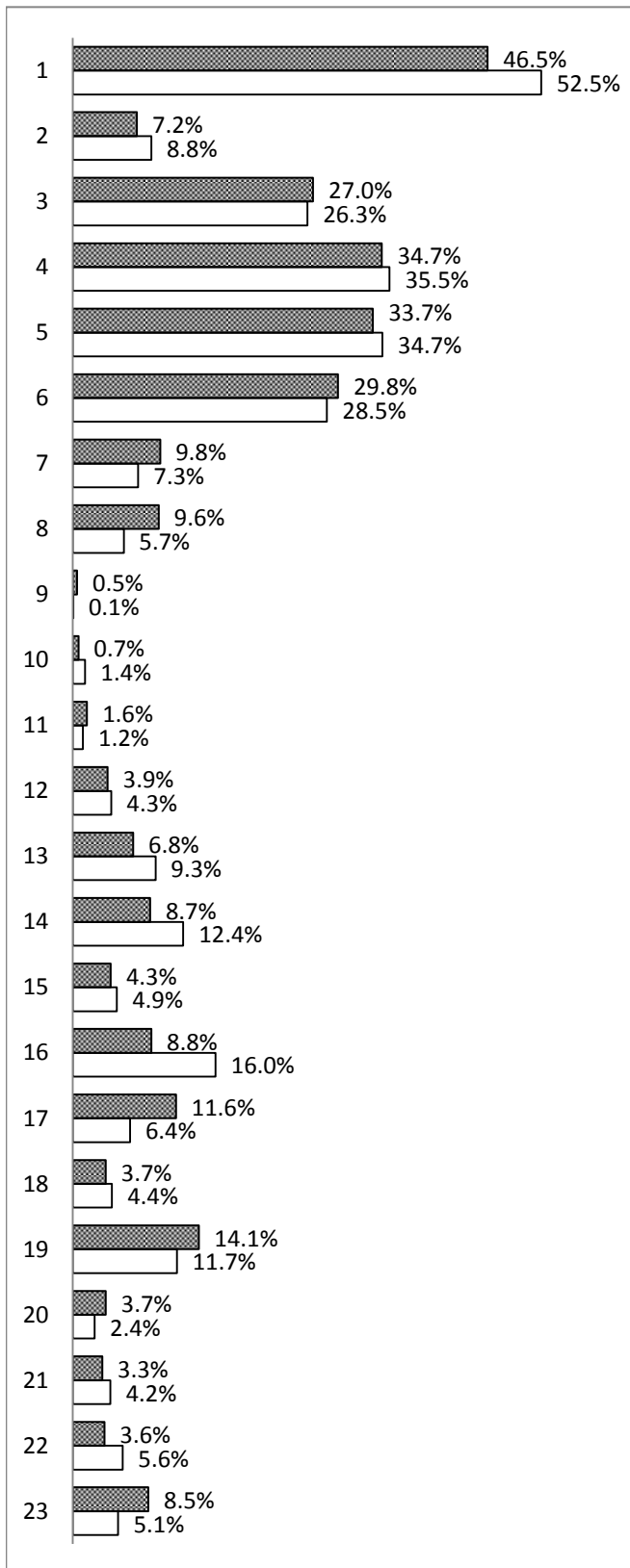


2 内陸部

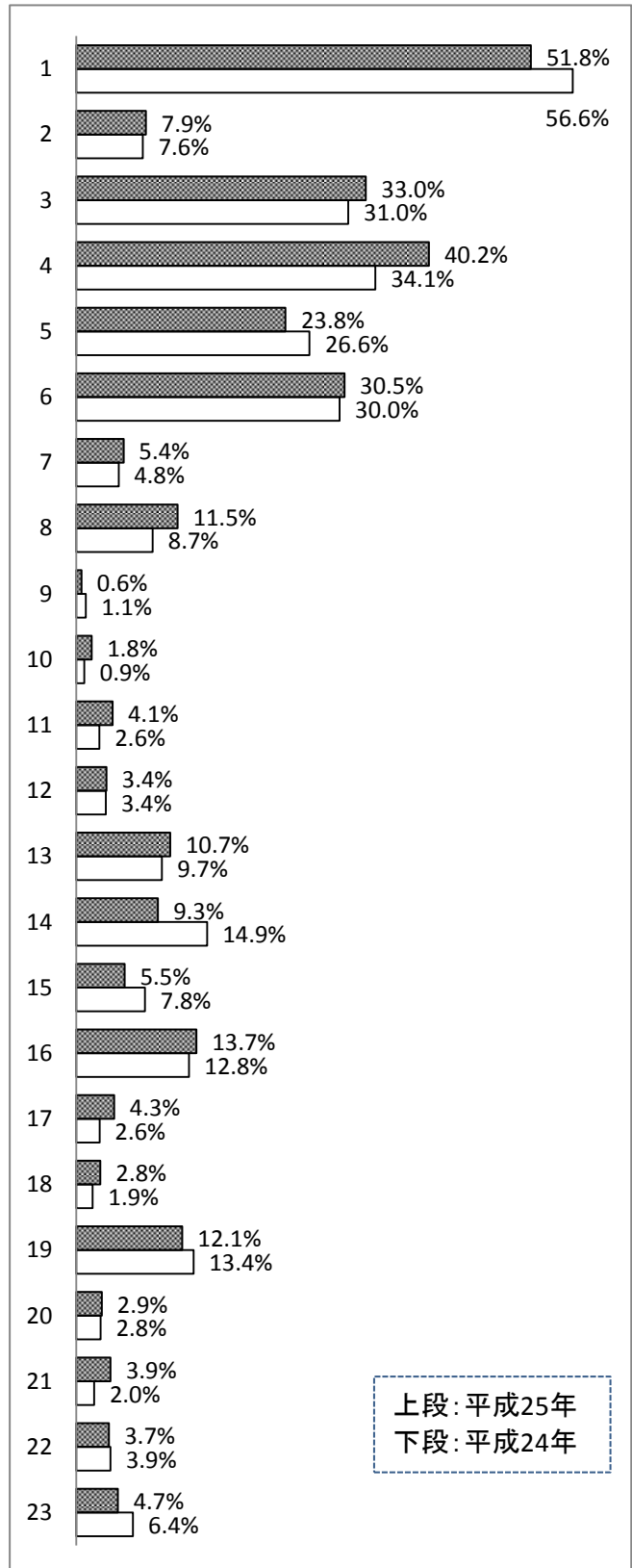


上段:平成25年
下段:平成24年

1-① 沿岸北部



1-② 沿岸南部



上段：平成25年
下段：平成24年

平成25年
「岩手県の東日本大震災津波からの復興に関する意識調査」結果
(速報)

(平成25年4月)

発行

平成25年4月30日

岩手県復興局総務企画課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：いわて復興ネット

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=39696&ik=0&pnp=14>